

山梨県入札監視委員会 審議概要

開催日及び場所	令和6年2月22日 14時00分から15時45分まで 防災新館 301会議室	
委員	委員長：武藤 慎一（山梨大学大学院教授） 委員長代理：中島 朱美（山梨県立大学教授） 委員：猪狩 学（弁護士） 鈴木 優典（山梨学院大学教授） 松浦 芳恵（一級建築士）	
審議対象期間	令和5年9月1日～令和5年12月31日	
総契約件数	313件	(備考) 審議件数 ・一般競争入札 6件 ・通常指名競争入札 1件
一般競争入札	288件	
(総合評価)	(224件)	
通常指名競争入札	25件	
随意契約	0件	
指名停止状況	4件	
私的独占又は不当な取引制限に係る情報処理状況	0件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	審議した7件については、適正に処理されている。	

別紙

《抽出事案の審議》

1 [一般競争入札（総合評価落札方式）（事前審査型）]

〔耕地課-23-0012 下大鳥居地区下大鳥居排水機場改修工事(一部債務)(余フ)〕

〈工事概要〉

ポンプ設備製作工（72.0 m<sup>3</sup>/min） 一式、ポンプ設備据付工 一式、建屋補修 一式

〈予定価格〉

493,647,000円（消費税含む）

〈入札参加資格〉

- ・本店所在地 指定なし
- ・競争入札参加資格 山梨県に於ける建設工事（機械器具設置工事）の入札参加資格を有する者で、令和5年2月1日の直前に終了する事業年度を対象とした経営事項審査の機械器具設置工事に係わる総合評定値が1,000点以上の者（特定建設業許可を有する）
- ・企業の施工実績 吐出量36.0 m<sup>3</sup>/min以上の排水ポンプ設備の工場製作を含む機械器具設置工事ただし、元請として請負い平成20年4月1日から入札参加資格申請締切日までに完成引き渡し済みの工事。なお、共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものとし、企業体の施工実績を各企業の施工実績として扱う。
- ・配置予定技術者の資格 機械器具設置工事の監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を保有する者
- ・配置予定技術者の施工実績 完成時に監理技術者、監理技術者補佐、主任技術者、担当技術者（完成時にCORINSに登録された者に限る）又は監理技術者資格者証を有した現場代理人（完成時にCORINSに登録された者に限る）として平成20年4月1日から入札参加資格申請締切日までに「企業の施工実績」と同様の施工従事経験を有する者

〈質疑応答〉

- Q) 説明の中にもあったとは思いますが、参加者数が1者であるところの原因というか、結果の分析があれば教えていただきたい。
- A) あくまでも推測ではあるが、今回の工事については排水ポンプの設備工事という非常に専門性を有する工事である。一般的な道路水路のような一般土木工事と比較すると専門技術者、資格保有者が少ないということで、技術者の確保が困難であったのではないかと考えている。
- Q) 応札可能業者は22者とある。可能業者としては22者いるが人材の不足ということか。
- A) そのように推測している。
- Q) この22者は、資格がある方がいることはいるけれども応札できないということか。
- A) はい。幅広に22者が入札参加できるようにということで設定している。また、22者の中でここ数年受注実績があることも確認したうえで入札参加資格を設定している。

Q) ほかの県等で、同様の工事があるというところは把握しているか。2 2 者の応札可能業者が同時に他の工事があるためになかなか応札できなかった等の事情はあるか。

A) 数的な根拠を示すことはできないが、全国的な話として防災減災対策についての公共事業が非常に進んでいる。その中でも、農村地域における排水機場やため池の耐震化は他県でも施工しており、機場においてもこのところ更新工事が加速している状況である。

Q) そういう施工が他にもあって、なかなか応札できないという状況があるということか。

A) 可能性はある。

## 2 [一般競争入札 (総合評価落札方式) (事前審査型)]

[道路整備課-23-0019 国道 140 号(新山梨環状道路東部区間 2 期)落合 4 号橋(仮称)

上部工製作・架設工事(一部債務)]

### <工事概要>

鋼橋製作・架設工

4 径間連続非合成鋼細幅箱桁橋

橋長 L = 188.0 m、幅員 W = 7.0 m (8.73 ~ 13.0 m)、

工場製作工 重量 W = 503.1 t、架設工 重量 W = 505.1 t

### <予定価格>

771,441,000 円 (消費税含む)

### <入札参加資格>

- ・本店所在地 (代表構成員・構成員) 指定なし
- ・競争入札参加資格 2 者 J V  
(代表構成員・構成員) 山梨県における建設工事 (鋼構造物工事業) の入札参加資格を有する者で、令和 5 年 2 月 1 日の直前に終了する事業年度を対象とした経営事項審査の鋼構造物工事のうち、鋼橋上部工事に係る総合評定値が 900 点以上の者
- ・企業の施工実績 (代表構成員) 重量 250 t 以上の鋼橋上部工製作及び架設工事の施工実績。ただし、元請として請負い平成 20 年 4 月 1 日から入札参加資格締切日までに完成引き渡し済みの工事。なお、共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が 20% 以上の場合のものとし、企業体の施工実績を各企業の施工実績として扱う。  
(構成員) 重量 150 t 以上の鋼橋上部工製作及び架設工事の施工実績。ただし、元請として請負い平成 20 年 4 月 1 日から入札参加資格締切日までに完成引き渡し済みの工事。なお、共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が 20% 以上の場合のものとし、企業体の施工実績を各企業の施工実績として扱う。
- ・配置予定技術者の資格 (代表構成員) 監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を保有する一級土木施工管理技士又は同等以上の資格を有する者。
- ・配置予定技術者の施工実績 (代表構成員) 完成時に監理技術者、監理技術者補佐、主任技術者、担当

技術者（完成時にCORINSに登録された者に限る）又は監理技術者資格者証を有した現場代理人（完成時にCORINSに登録された者に限る）として平成20年4月1日から入札参加資格申請締切日までに、重量250t以上の鋼橋上部工架設工事の施工従事経験を有する者。

〈質疑応答〉

Q) 参加業者が1JVというところであるが、他の入札もこのような形であるか。もう少しいろいろな業者に参加していただくのは難しいか。他の工事であれば応札が困難であるという状況もあるとは思うがいかがか。

A) あくまでも想定ではあるが、東部区間、小瀬の南側は盛んに橋梁の上部工事を何工区か施工している。現在は6工区ほどであるが、一斉に発注しているわけではなく、下部工事が施工完了した橋ごとに順番に発注している。6工事ほど橋梁の上部工事が施工中であり、それぞれ請負業者は異なっている。

Q) 異なる業者が施工しているのか。

A) 異なっている。共同企業体であるため、代表構成員あるいは構成員として、2つ、3つの工事に関わっている業者はあるが、それぞれ別の共同企業体が受注している。

Q) 共同企業体の組み合わせは全部異なっているのか。

A) 異なっている。同じJVは今のところない。

想定ではあるが、工事の規模感や、技術者の確保が困難である状況がある。笹子トンネルの事故以降、社会資本、トンネルや橋梁の補修工事が盛んに発注されている。特に高速道路においては、1年中工事をしているような状況であり、規模も大きい。そのような工事に技術者がとられているということは業者からも聞いているため、それも一つの原因ではないか。

### 3 [一般競争入札（総合評価落札方式）（事後審査型）]

[都市計画課-23-0013（都）田富町敷島線（仲新居工区）道路工事4工区（一部債務）（余フ）]

〈工事概要〉

道路改良工事 L=117m W=6.0(16.0)m

側溝工 L=464m、電線共同溝工 L=117m（施工総延長L=224.6m）、

管路工一式、特殊部一式、下層路盤工（車道）A=1,183m<sup>2</sup>、

上層路盤工（車道）A=1,183m<sup>2</sup>、路盤工（歩道）A=580m<sup>2</sup>

〈予定価格〉

137,247,000円（消費税含む）

〈入札参加資格〉

- ・本店所在地 県内
- ・競争入札参加資格 土木一式 A
- ・企業の施工実績 請負金額6千万円以上の道路工事。

ただし、元請として請負い平成20年4月1日から入札参加資格締切日までに完成引き渡し済みの工事。なお、共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものとし、企業体の施工実績を各企業の施工実績として扱う。

- ・配置予定技術者の資格 監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を保有する一級土木施工管理技士又は同等以上の資格を有する者

〈質疑応答〉

Q) 2者が辞退しているが、その辞退理由がわかれば教えていただきたい。

また、図面をみると、前回発注済の箇所があるが、こちらも今回と同じ業者が施工しているのか。

A) まず、2者の辞退の理由については、先ほど少し説明したところであるが、1者は、応札にあたり見積価格を算出したところ予定価格を超過してしまい、社内で検討したが予定価格内での施工が困難であるとの判断で辞退した。もう1者は、配置予定技術者が別の工事に従事をしてしまったとのことで、考えられることとして、代替の技術者が確保できなかったのではないかと推測している。次に、発注済の箇所については、2本工事を発注しており、令和3年度に1つ、令和4年度に1つ発注している。令和3年度の工事については今回の落札業者が請け負っているが、もう1つの工事は別の業者が請け負っている。

#### 4 [一般競争入札 (総合評価落札方式) (事前審査型)]

〔営繕課-23-0267 県営住宅寿団地A号棟1工区改築電気設備工事 (一部債務)〕

〈工事概要〉

県営住宅寿団地A号棟1工区 (鉄筋コンクリート造6階建て (42戸) 延べ面積2,532.42m<sup>2</sup>) の改築に伴う電気設備工事

幹線、共用電灯、電話情報、テレビ共同受信、火災報知、EVインターホン、太陽光、住戸内電気、構内配電線路、構内通信線路の各設備

〈予定価格〉

115,170,000円 (消費税含む)

〈入札参加資格〉

- ・本店所在地 (代表構成員・構成員) 県内
- ・競争入札参加資格 2社JV  
(代表構成員) 電気工事業 A (特定)  
(構成員) 電気工事業 A又はB (予定価格に出資比率を掛けた金額が5千万円未満の場合はBとできる。)
- ・企業の施工実績 (代表構成員) 5千万円以上の建築物の電気工事。ただし、元請として請負い平成20年4月1日から入札参加資格申請締切日までに完成引き渡し済みの工事。なお、共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものとし、企業体の施工実績を各企業の施工実績として扱う。
- ・配置予定技術者の資格 (代表構成員) 監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を保有する1級電気工事施工管理技士又は同等以上の資格を有する者

- ・配置予定技術者の施工実績 (代表構成員) 完成時に監理技術者、監理技術者補佐、主任技術者、担当技術者(完成時にCORINSに登録された者に限る)又は監理技術者資格者証を有した現場代理人(完成時にCORINSに登録された者に限る)として平成20年4月1日から入札参加資格申請締切日までに「企業の施工実績」と同様の施工従事経験を有する者

〈質疑応答〉

- Q) 何度か営繕課の事案について申し上げているが、営繕課が担当している建物での電気設備工事がいくつもあることは承知している。ただ、工事が重複することで1者入札となっているという話をずっとしている。これを分散できるように管理できないのかという話をしたところ、事業課からの依頼により発注しているため難しいという話があった。そこを営繕課としてどうにか分散することについて考えていないのか。
- A) ご指摘をいただいたことは承知している。できるだけ依頼を受ける前の予算の段階で、工事時期の調整をしているところであるが、事業課で予算措置をいつするか、当初あるいは補正で対応するのかなというところがあり、なかなか難しい。しかし、そういった中でも同じ月に集中しないよう分散して発注するため、例えばLEDの工事はたくさんあるが、予算を6月、9月、12月補正予算へ分散する等、できるだけ予算措置の段階から調整しているところである。
- Q) 努力をされていることは重々理解しているつもりだが、そもそも、県の設備について全体的にどの工事がいつ頃施工するかということをとータルで把握しているような部署は存在しないのか。例えば、マンションであれば何年頃にどういう工事が必要かということがだいたい決まっていると思うが、県の設備全体に渡って把握している組織はないのか。
- A) 総務部の資産活用課が県の長寿命化工事を取りまとめている。教育委員会も警察も含めた県の組織の庁舎の情報が集まっている。選定委員会において危険度・劣化度など優先順位が高い箇所から順番に施工することを決めている。毎年30億円ほどの規模の中で、どのように分散するかということを決めている。
- Q) そこできちんと分散していただければ、1者入札は少なくなると思うが。
- A) 先ほどのものは長寿命化に関するものであるが、それ以外に、例えば警察で大きい施設を建てる等、改修とは異なる施策に関わる案件がいくつか出てくる。
- Q) 改修とはまた違う案件が出てくるのか。
- A) はい。施策に関わる案件については、事業課が何をいつまでにという計画をしているため、そこを把握するのは難しい。
- Q) いずれにしても、分散発注、平準化に努めていただきたい。
- A) はい。承知した。
- Q) 維持補修をバランス良く発注しても、途中で新規の案件が出てくると限界もあるということか。
- A) はい。施策的なものについては営繕課で関与することはなかなか難しい。
- Q) 期間が長いと工事金額が契約した時よりも物価変動などにより高くなることもあると思うが。
- A) スライド条項というものがあり、一定規模以上価格が変動した場合には業者からの申出により増額

する仕組みもある。

Q) 物もないし、人もいない、金額はどんどん上がっているの、大変だとは思う。

A) そのようなこともあるので、たびたび単価を見直すといったことはしている。

Q) 工期が2年もあれば価格も大きく変わる。

A) 請け負っている間に変動があれば、その変動に対応する契約条項がある。

Q) 契約金額の範囲内に収めるということではないということか。

A) 請負者が適正な利益を得られるように金額を変更するもので、下がった場合も同様である。

## 5 [一般競争入札 (総合評価落札方式) (事後審査型)]

### [流域下水事-23-0029 桂川流域下水道金畑橋耐震補強工事]

#### 〈工事概要〉

P 1 橋脚炭素繊維巻立て工 A = 4 2 6 m<sup>2</sup>

#### 〈予定価格〉

93,522,000円 (消費税含む)

#### 〈入札参加資格〉

- ・本店所在地 県内
- ・競争入札参加資格 土木一式 A又はB (特定建設業許可を要する)
- ・企業の施工実績 請負金額4千万円以上の道路工事。  
ただし、元請として請負い平成20年4月1日から入札参加資格締切日までに完成引き渡し済みの工事。なお、共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものとし、企業体の施工実績を各企業の施工実績として扱う。
- ・配置予定技術者の資格 監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を保有する一級土木施工管理技士又は同等以上の資格を有する者

#### 〈質疑応答〉

Q) 応札可能業者が172者であるが、参加業者が1者となっている。要はほとんどの業者が手を挙げられない、1%に満たない状況である。逆に言うと、この1者がよく応札してくれたというところであるが、人手不足、物価の高騰あるいは他工事との重複という状況はすぐには変わるとは思えない。近いところで、参加者が0になる、あるいは参加者はいるが応札が0になる恐れはないか。

A) できるだけ多くの業者が入札に参加できるように、広い条件を設定して発注している。先ほど説明の中で申し上げたとおり、技術者の不足ということがあるので、監理技術者が重複できるようにといった対応をすることで、できるだけ入札参加していただけるようにしている。

Q) 具体的に参加が0となった場合にはどうなるか。

A) 入札参加条件を広げていくしかない。今は県内の業者という条件にしているが、この条件で参加者

がいなかった場合には、工事の規模を大きくして予定価格を上げる、更に予定価格を上げてJVにする、県内ではなく全国の業者にする等、入札参加条件を広げて公告をするというのが一般的である。

Q) この事案に限らず、報告書をみると、おそらくそれぞれ参加可能業者は数十者あるいはそれ以上で設定しているとは思いますが、多くの事案で参加が1者である、あるいは参加が2者であっても応札が1者という案件が非常に多いと感じる。逆に0はないのか。これだけ1者応札があるのであれば、応札者が0ということもあるのではないかと思う。むしろその方が自然であると考えがいかか。

A) 実際に当事務所が発注した案件でも、応札が0という案件はある。先ほど申し上げたように、入札参加エリアを広げたり、工事の規模を大きくして予定価格を上げたりすることで、最終的には1者応札だとしても落札になっている。

Q) そうすると、この報告書でいただいているものは、結果として誰かしらに応札してもらったものが出てきているということか。

A) 一般的なことであるので、事務局から説明させていただく。

実際応札者が0という案件は少なからずあるが、報告書には掲載していない。報告書は契約済の案件を一覧として掲載しているため、応札者0の案件は除外されている。

Q) 今回の工事は、耐震工事ということであるが、耐震工事は最近多いと思うが、その影響はあるか。

A) 国の強靱化の施策も相まって、全国的に耐震化の工事は多く発注されているのではないかと考える。

Q) この橋は古いのか。

A) この橋は平成7年度に着工し、平成11年度に完成している。

Q) 問題があった橋か。

A) そうではなく、橋の設計に使用する示方書は、その後に発生した地震の強さ等の設計条件の変化を受けて改定されていくもので、今回の工事は、改定された最新の示方書に合うように橋の補強を行う工事である。

Q) この金畑橋を施工したのは、今回の受注業者か。

A) この橋のA2橋台とP2橋脚は、今回の受注業者が施工した。今回のP1橋脚は別業者が施工した。

Q) 必ずしもノウハウが残っているわけではないということでしょうか。ノウハウがあると安価に作業しやすいということがあるとは思いますが。

A) どの業者でも受注できる工事である。

Q) もちろんそうではあると思うが、連続工事といったものではないということでしょうか。

A) そのような案件ではない。

Q) 今回は耐震補強工事ということであるが、最初の施工の際にきちんとしていればこの工事は不要ということはないか。

A) 今、新しい橋を造るとすれば、最新の橋梁の示方書に基づいて橋を造ることになる。



Q) 施工当時は最新の示方書で造ったということか。

A) はい。建設時の最新の示方書で施工している。

Q) 補強方法を設計し、施工するというだけでよいか。建築でもコンクリート基礎に炭素シートを貼ることがあるが、強度に問題は無いということによいか。

A) 強度が証明されている材料を使って施工するので、問題はありません。

## 6 [一般競争入札 (事後審査型)]

### [笛吹発管理-23-0018 柚ノ木発電所 水槽除塵機レーキチェーン取替工事]

#### 〈工事概要〉

水槽除塵機レーキチェーン取替 一式 (鋼製140リンク/片側×2)

試験調整 一式 (動作試験、チェーン弛み・傾き調整他)

資機材運搬 一式 (ヘリコプター：柚ノ木発電所～水槽間)

#### 〈予定価格〉

10,032,000円 (消費税含む)

#### 〈入札参加資格〉

- ・本店所在地 指定なし
- ・競争入札参加資格 機械器具設置工事業
- ・企業の施工実績 除塵機の改良又は補修を含む、5百万円以上の機械器具設置工事。  
ただし、元請として請負い平成20年4月1日から入札参加資格申請締切日までに完成引き渡し済みの工事。なお、共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものとし、企業体の施工実績を各企業の施工実績として扱う。
- ・配置予定技術者の資格 不要
- ・配置予定技術者の施工実績 不要

#### 〈質疑応答〉

Q) 確認ではあるが、そもそもこの設備自体を今回の落札業者が設置したということか。

A) おっしゃるとおりである。

Q) 県内業者の1者が手を挙げなかった理由について聞き取りをしているか。

A) 把握はしていないが、事前の参考見積りを徴した際には、見積書を提出していた。

Q) その後の入札参加をしない理由については聞き取りをしていないか。

A) 特にそこまで求めていない。

Q) 県外の応札可能業者57者については、全国各地か。

A) 57者については県外である。

Q) 近県に限らず全国ということか。

A) 全国である。

#### 7 [通常指名競争入札]

##### [中北農務事-23-0061 中野地区活性化農道舗装工事]

###### 〈工事概要〉

施工延長 L=201m 幅員 W=4.0m、付帯工事 一式

###### 〈予定価格〉

8,954,000円(消費税含む)

###### 〈指名業者の選定理由〉

舗装工事A又はBの発注等級区分に該当する資格を有し、業者状態が正常で納税状況が完納の業者は326者である。

1. 326者のうち、本店所在地が南アルプス市に所在する18者を選定
2. この18者のうち中農務事務所発注で受注実績のある12者を選定
3. 受注実績のある12者の中から工事場所と会社までの距離が近い順に5者を選定

###### 〈質疑応答〉

Q) 5者については、距離が近い順に5者ということであるが、5者というのは決まっているか。

A) 工事現場に近いところから順に5者を選定した。

Q) 5者が標準的ということによいか。

A) 1,000万円以下であるので、5者となる。

山梨県建設工事等指名選定要領において1,000万円未満は原則5者と規程されているため、それに基づき選定した。

###### 《前回審議案件にかかる訂正》

##### [建築住宅課-23-0001 県営住宅櫛形小笠原団地1号館エレベーター更新工事]

###### 〈説明概要〉

- ・前回委員会において、予定価格が事前公表であるかのように回答をしたが、随意契約の場合、予定価格は事後公表としている。
- ・そのため、本案件の場合、随意契約の相手方である業者は予定価格が判らない状態で見積書を提出しているために、今回のような経過となったと考えられる。

###### 〈質疑応答〉

- ・なし

###### 《全体を通しての意見》

- ・なし

以上